

<平成 27 年度>

## 産業文化部の取り組み実績

産業振興室商工振興課  
産業振興室販わい交流課  
産業振興室農業振興課  
文化生涯学習室

### I 重点施策・事業

#### ◆生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理導入に向けた準備

市民サービス向上と効率性の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の円滑な導入に向けて準備を進めます。平成 27 年度は、平成 28 年 4 月から 2 施設に先行導入するための手続き等を行います。



#### 実績

- 生涯学習施設と図書館の複合施設 2 館（蹉跎・牧野）について、平成 28 年 4 月からの導入に向けた手続きを実施し、指定管理者を決定した。

#### ◆文化芸術の拠点整備に向けた取り組み

総合文化施設の整備については、平成 27 年度から、基本設計・実施設計に着手します。あわせて、まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術の拠点施設とするための施設運営計画の策定に取り組みます。また、運営主体については、本市の文化芸術事業を担っている（公財）枚方市文化国際財団の今後のあり方も含め検討します。

#### 実績

- 昨今の建設需要の高まりにより整備費が大幅に高騰することから、施設機能の一部を見直し、整備費の縮減に向けた検討を行った。この対応等に期間を要したことから、設計図書作成には至らなかった。

#### ◆美術館整備について

市民からの建物寄附による美術館については、美術館整備に反対する市民等の行動により、建物建設工事が遅れており、早期の竣工に向けた環境づくりを進めます。また、開館後の運営体制や記念事業等について検討を進めます。

（11 月追記）

市民からの建物寄附による美術館については、寄附者と本市が締結した覚書にある平成 27 年度内の開館が難しい現状から、一旦白紙に戻し、引き続き寄附者と話し合いを進める中で、今後の方向性を定めていきます。

#### 実績

- 寄附者と話し合いを進める中で、市より新たな提案を行い、協議を進めていたが、諸課題を勘案した結果、市として美術館の整備を前提とした寄附を受けることは困難であるという市の判断に至り、寄附者にその旨をお伝えした。

#### ◆文化芸術振興計画の策定

平成 26 年 4 月に施行した枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画の策定に取り組みます。

平成 26 年度に設置した枚方市文化芸術振興審議会では、市民や芸術家、事業者等と連携を図りながら、市民の文化芸術活動の機会の充実、

障害者等だれもが文化芸術に親しむ機会の環境整備、文化芸術を支える人材の育成など、条例に規定する基本施策を総合的に推進するための調査・審議を行い平成27年度に計画を策定します。

### 実績

- ・審議会において、計画の構成や基本施策について、2回にわたり審議を行ったが、本計画が総合文化施設等の整備状況と大きく関係することから、審議を延期した。

### ◆「プレミアム付商品券」の発行や「まちゼミ」への支援

「地域住民生活等緊急支援のための交付金（消費喚起・生活支援型）」を活用して、プレミアム付商品券を発行し、市内消費喚起と地域商業の活性化を図ります。

商業団体が実施する「まちゼミ」（店主が各店舗で実施する無料のミニ講座）に、支援を行い、地域コミュニティの担い手でもある商店街活性化につなげていきます。

また、平成27年度に策定予定の地方版総合戦略において市内産業活性化や雇用促進に資する施策について、商工団体や金融機関等と意見交換を行いながら、企画立案します。



「まちゼミ」実施状況

### 実績

- ・プレミアム付商品券について、5,000円で販売する、額面6,000円（500円×12枚綴り）の商品券を24万冊発行。発行総額14億4000万円、プレミアム率20%。12枚券のうち、8枚は取扱店全店共通券、4枚は地域中小店専用券とし、中小店舗から大規模店舗まで地域商業全体の活性化に向けた取り組みを実施した。

- ・まちゼミ事業も引き続き支援し、69店舗参加の87講座が開催、参加者総数846名と地域産業の活性化に繋がった。
- ・市内中小企業と若年者との雇用マッチングに向けた施策の企画立案に取り組んだ。

### ◆農業後継者の育成と農地の保全

都市農業ひらかた道場による新規就農研修事業については、第2期研修生2名を新たに迎え、研修生5名を対象に農業後継者の育成に取り組みます。第1期研修生3名が本年度末で研修を終えることから、平成28年度からの円滑な就農と定着化に向けた支援策を構築します。

また、平成26年度実施のアンケート調査をもとに得られた、農地の提供農家の情報を活用し、農地銀行等と連携して、第1期研修生の農業経営に必要な農地確保に向けた取り組みを進めるなど、効果的な支援を行います。



都市農業ひらかた道場研修風景

### 実績

- ・次代を担う農業者を育成するため、「都市農業ひらかた道場」を平成26年4月に開設し、平成27年度も引き続き研修を実施した。
- ・1期生3名が平成27年度末で研修修了、内2名が市内にて独立・自営就農希望。農業経営に必要な農地は、農地銀行による利用権の設定を行い、認定新規就農者として平成28年4月より農業経営開始。
- ・「都市農業ひらかた道場」修了生を含む認定新規就農者に対して、円滑な就農と定着化を図るための支援事業について、平成28年度実施に向けて要綱の制定を行った。

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
28. 生涯学習施設と図書館の効率と図書館の効率的な管理運営	平成 28 年 4 月からの 2 複合施設への指定管理者制度の先行導入に向けて、所定の手続きを行う。
<b>実績</b>	
・生涯学習施設と図書館の複合施設 2 館（蹉跎・牧野）について、平成 28 年 4 月からの導入に向けた手続きを実施し、指定管理者を決定した。	

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	枚方文化観光協会に、27 年度中の中期経営プランの策定を促す。
<b>実績</b>	
・（特活）枚方文化観光協会において中期経営プランの平成 28 年 5 月経営策定にむけて平成 27 年度に取り組んだ。	

改革課題	取り組み内容・目標
48. 新たな産業振興策の推進と雇用創出の仕組みづくり	情報交換会の開催など連携の仕組みづくりを行うとともに、雇用のマッチング・定着支援に資する事業の企画立案を行う。
<b>実績</b>	
・従来の「医療・産業連携情報交換会」だけでなく新たに、企業を中心とした「医療・産業連携勉強会」を 5 回開催。また雇用創出の仕組みづくりについては、市内大学生を含む若年未就職者と中小企業とのマッチングを目的とした企業交流会を大阪府・北大阪商工会議所・地域金融機関と連携し、取り組んだ。	

### <改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
文化観光協会負担金交付事業	性質別での報告となっている団体の決算報告について、より透明性を確保するため、事業別での報告を検討するよう働きかける。
<b>実績</b>	
・負担金については、事業別での報告には至っていないが、負担金 435 万円を平成 28 年度以降、段階的に削減し、平成 31 年度までに 300 万円とすることとした。（平成 28 年度は 390 万円）	

事務事業	取り組み内容・目標
枚方市魅力発信事業	新たな魅力発信事業を本事務事業に含めることで、効果的な情報発信を行う。
<b>実績</b>	
・「淀川ウルトラマラソン」を魅力発信事業に含め、情報発信を行った。	

事務事業	取り組み内容・目標
伝統産業育成事業	現行事業は休止。伝統産業に係る支援方法の検討を行う。
<b>実績</b>	
・技術伝承者の高齢化等に伴い現内容による事業継続は困難となったため事業を廃止。今後は技術継承を受けられた継承者への支援やこれまでのそうめん作りについて情報発信を行うなど伝統をつなぐような手法を検討する。	

事務事業	取り組み内容・目標
中小企業エコアクション 21 認証取得促進事業	ISO 14001 認証取得事業と統合の上、事業者への制度周知を図る。
<b>実績</b>	
・2つの事業を「環境マネジメントシステム認証取得事業」として統合し、事業者への事業周知に努めた。	

＜業務改善のテーマ・目標＞

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	引き続き接客研修を実施するなど接客能力を高め、市民や事業者への対応を円滑に行い、満足度の向上に努める。また、シフト制による交替勤務のある各生涯学習市民センターにおいては、併せて、業務日誌などを活用し、適切な引継ぎを行う。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民サービスの向上の観点から窓口における接客能力向上を図るとともに、業務日誌などを活用した引継ぎ等に取り組んだ。また、職員の障害者対応の向上を図るため、外部講師による講義や、障害者サークルによる講義・ワークショップによる手話研修を実施した。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
効率的な会議の実施	会議等において、終了時刻や終了目標を明確に設定することで、メリハリのある会議を行なう。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議題を明確にし、必要な議論に集中するなど、限られた時間の中で効率的な会議を実施している。</li> </ul>

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆イベント等の内容や実施主体の見直しなどを行い、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

**実績**

- ・秋に実施していた「蘇れ淀川の舟運」の実施主体を見直し、民間事業者の主催事業とすることで委託料の削減につながった。

- ◆国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金（消費喚起・生活支援型）」を活用して、プレミアム付商品券発行に係る予算 3 億 7586 万円を確保しました。

**実績**

- ・予算執行により、総額 14 億 4,000 万円のプレミアム付商品券を発行。市内の消費喚起及び地域商業の活性化に寄与した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の多くの業務が、市民や事業者、関係団体との連携を必要とすることから、より効果的な事業支援が行えるよう、市内の現地視察や他市への研修を充実させます。

**実績**

- ・産業・文化の各分野において、先進事例等の視察を行い、事業の参考とした。

- ◆賑わい交流課では、国内外の友好都市との交流事業などが年間を通して多数あるため、担当職員以外でも、その業務が行えるよう応援体制を整えます。

**実績**

- ・国内外の友好都市への訪問や各種交流事業において、担当外職員の応援による柔軟な従事体制をとることで効率的に事業が執行できた。

- ◆商工振興課で所管する融資に係る相談対応について、研修・OJT を通じてスキルの向上を図ります。また、事業者支援に向けて、関係団体とも連携して、事業者の実情把握に努めます。

#### 実績

- ・融資受付は OJT や相談案件の情報共有を通じてスキル向上を図り、よりスムーズな事業者支援に努めている。

## V 広報・情報発信

### ◆イベント情報の効果的な発信

産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、チラシなどを活用し、効果的な情報発信に努めます。

#### 実績

- ・イベントの実施に際しては、広報ひらかたやホームページと並行し、ツイッターやプレスリリースや地域メディアを活用し、効果的な情報発信に努めた。

### ◆プレミアム付商品券発行の周知

プレミアム付商品券をより多くの市民に利用していただけるよう、広報ひらかたのほか各種媒体、PR イベント等を通じて、事業者・市民への周知を図っていきます。

#### 実績

- ・各種媒体・メディアを通じて広報周知を行い、プレミアム付商品券は事業開始後 3 日間で完売した。